

まりもだより

第3号

医療法人社団まりも会ヒロシマ平松病院の広報誌

【特集】最近のがん治療

- 【整形外科】 手術に代わる新しい治療
- 【歯科口腔外科】 骨粗鬆症治療に伴う顎骨壊死予防
- 【その他】 当院からのオススメ情報



ごあいさつ

この度は当院が発行する広報誌「まりもだより」をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。院長として、新しい医療と地域の皆様の健康増進に向けた当院の取り組みをご紹介できることを大変嬉しく思います。

整形外科分野では、非侵襲的でありながら疼痛緩和と治癒を促す体外衝撃波疼痛治療の最新情報をお届けします。また、PRP（多血小板血漿）療法という、体の自己治癒力を活用した革新的なアプローチについて、またそれぞれの比較についてご説明します。

がんは依然として私たちの大きな課題ですが、消化器がんを中心としたがん化学療法における当院外科の取り組みについて情報提供します。患者さま一人ひとりに合わせた治療計画を立てることで、最善の結果を目指すよう努めています。

さらに、骨粗鬆症治療に伴う顎骨壊死の予防に関しても取り上げます。この稀ですが重篤な副作用に対して、先手を打つための対策と教育リソースを提供し、患者様の全面的なケアを目指します。

各記事を通じて、専門家がこれらの複雑な治療法をわかりやすく解説します。この広報誌が、情報提供だけでなく、皆様が積極的に自身の健康に関わり、最適なケアを求めるための力になれば幸いです。

皆様の健康を守ること、それが我々の使命です。この広報誌が、皆様の健康に対する理解を深める一助となることを願っています。なにかありましたら、ご相談ください。ご来院をお待ちしております。



ヒロシマ平松病院
院長 高澤 篤之

当院では様々な「痛み」でお困りの患者さまに対し、手術に代わる治療を選択していただけるようPRP療法やAPS療法（次世代PRP療法）、SHOCKWAVE体外衝撃波治療を導入しておりますのでご紹介いたします。

PRP療法（多血小板血漿療法）とは、生体が本来持つとされる自然な治癒反応を促進する新しい治療法です。患者さまの自己血から血小板を収集・分離した高濃縮の自己由来血液成分(L-PRP:高白血球多血小板血漿)を作り患部へ投与すると、L-PRPに含まれる血小板が活性化して各種成長因子が放出され、「自己の治癒力」を高めて患部の疼痛の軽減や傷んだ組織の修復を促します。PRPは、主に筋・靭帯や腱などの組織修復を促すことが期待されます。主な対象疾患は、上腕骨外側上顆炎、膝蓋腱炎、アキレス腱炎、足底筋膜炎、靭帯損傷、その他の腱付着部炎などです。スポーツ外傷の早期修復が期待できます。

また、PRPから抗炎症成分など関節の健康に関わる成分を取り出すことで炎症を抑え、痛みを軽減が期待できAPS、PRPを活性化し無細胞化・濃縮した上でフリーズドライ化（粉末化）して血小板の放出する様々な成長因子を使って痛みを緩和し、より早い組織修復を促すPRP-FD療法もあります。PRP-FD療法は、PRPに比べて成長因子の総量が多いです。ただし、その作成には約3週間の

時間がかかりますが、保存期間が約半年間あり複数回にわけて注射することが可能なのは魅力的です。

一方、SHOCKWAVE体外衝撃波治療は、機械で発生させた衝撃波を患部に照射し痛みを緩和したり患部の血流改善や腱の再生を促したりする治療です。体外衝撃波治療法は、元々は腎臓や尿管など体内にできた結石に照射することで結石を破砕できる治療方法として主に利用されてきました。欧米では近年、この体外衝撃波治療を低出力の衝撃波として利用し、足底腱膜炎・テニス肘・ゴルフ肘など多くの疼痛性疾患の除痛を目的とした治療に応用するようになった、整形外科領域では新しい治療法になります。スポーツ選手を中心に、患者さまの体に負担が少なく、安全かつ有効な治療法として広まっています。日本でも「難治性の足底腱膜炎」に対する保険適応が認められています。また、保険適応外ですがアキレス腱炎・アキレス腱付着部炎、膝蓋腱炎、偽関節、疲労骨折、シンスプリント（脛骨過労性骨膜炎）、その他の腱炎・靭帯炎、上腕骨外側上顆炎(テニス肘・ゴルフ肘)、肩こり、慢性腰痛症、石灰沈着性腱板炎、肩腱板炎、骨折遷延治癒、早期の離断性骨軟骨炎、早期の骨壊死、舟状骨骨折などにも応用しています。

これらの治療法について特徴をまとめますと下表になります。詳しくは当院整形外科へご相談ください。

PRP療法とSHOCKWAVE体外衝撃波治療の特徴

	 PRP療法 	 SHOCKWAVE 体外衝撃波治療 
組織再生		
早期疼痛軽減		
治療後の反応	3-4日 炎症（痛み、熱感、赤み、腫れ）を伴う場合があります	ほとんどなし 治療時に軽い痛みや不快感、腫れ等を生じることがあります
消炎作用		
早期競技復帰	1週間後より可能	当日より可能
向いているタイプ	<ul style="list-style-type: none"> 炎症が強い 画像上損傷部位が広い 鎖骨・肋骨付近のケガ（肺には衝撃波を照射できないため） 神経に隣接したケガ（内側上顆炎など） 休養期間が十分に設けられる 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みをすぐに取りたい 試合までに休みを取れる時間がない 鈍痛が一年以上続いている 注射を試みたが、満足する効果が得られていない 注射以外の方法で治療したい

実は、がんはとても身近な病気です。がん情報サービスの最新がん統計によると、日本人が一生のうちのがんと診断される確率は、男性で65.0%、女性で50.2%とあります。つまり、日本人の2人に1人が一生のうちのがんと診断されるということです。また、現在がんのおもな治療方法は、手術・放射線治療・抗がん剤治療・免疫療法の4つがあります。当院、消化器外科では消化器がんである胃・大腸癌に対して手術療法と化学療法（抗がん剤・免疫療法）をおこなっています。

また、現在のがん治療を行っていくうえで、多職種によるサポートは必須です。がんに対するリハビリテーション・NST（栄養サポートチーム）・化学療法委員会・ストーマ委員会・ストーマ外来を充実させ、がんの様々な症状や治療による副作用に対応しつつ患者さまの日常生活を保ちながらがん治療が継続できるように努めています。

ストーマ外来

ストーマ（人工肛門）とは、手術によって肛門の手前にある腸を持ち出して造られた新しい便の出口のことです。ストーマは周囲の皮膚がかぶれたり、尿や便が漏れやすくなることがありますので、適切なケアが大切です。

そこで、当院では毎月第1.3火曜日の午前中にストーマ外来を行っています。適切にストーマケアが行われているか、ストーマで難渋していることはないか確認し、必要に応じて装具変更等の支援を行っています。継続的に関わることにより患者さまの相談窓口としての機能も果たしています。



外来診察



採血・検査
主治医診察
化学療法指示



薬剤師からの問診
服薬指導



ストーマ装具交換の様子



化学療法実施

点滴中の安全管理やセルフケアの指導も行います



がん化学療法の治療サイクル（ヒロシマ平松病院の場合）

化学療法（外来：火・木、入院：水）

化学療法とは抗がん剤を用いてがんを治療することをいいます。抗がん剤にはがんの増殖を抑えたり、再発や転移を防いだりする効果があります。

一方で、抗がん剤を使用することで重い副作用が起こる可能性や、正常細胞のDNAに作用して正常細胞ががん化する可能性などのデメリットもあります。そのため、

抗がん剤を理解し、安心・安全に投与するために適切な管理が必要です。当院では化学療法を開始する際は全身状態の管理のため入院していただいています。最初の入院期間は2週間、問題がなければ2回目からを外来でおこなうことも可能です。

入院中のがんリハビリテーション

がん自体が直接、筋力や体力の低下などを引き起こし、また手術による体力低下、化学療法などのがん治療による食欲不振などの副作用が予想されます。これを放置しておくと患者さんの体力が低下し、仕事や日常生活に支障をきたすこととなります。そこで当院では、主治医の判断によりリハビリテーションが必要な患者さまにがんリハビリテーションを提供しております。早期離床や運動を行うことで筋力や体力の低下を予防し、最大限に日常生活動作を維持します。その内容は、①呼吸・排痰法、②ストレッチ、③筋力強化（マシントレーニングも含む）、④歩行練習、⑤自転車エルゴメーター、⑥日常生活動作練習、です。これらのリハビリテーションを実施することで筋力や体力を維持・向上し、がんの治療継続しながら患者さまそれぞれの生活が維持されることにつながります。



日常生活

24時間・夜間休日
電話対応しています

食事管理



リハビリテーション



【監修】

ヒロシマ平松病院 消化器外科
寺岡義布史（てらおかよしふみ）医師
日本外科学会認定医, 医学博士

骨粗鬆症治療に伴う顎骨壊死予防

特定の骨粗鬆症の治療薬で顎骨壊死が生じる可能性があることは2003年に初めて報告され20年が経ちました。今では骨粗鬆症の薬だけでなく血管新生阻害薬などでも生じることがあるため、薬剤関連性顎骨壊死 (Medication-related osteonecrosis of the jaw : 以下MRONJ)と呼ばれるようになりました。

分かりやすい症状として口腔・顎・顔面領域に骨露出を認めるか骨を触知できる瘻孔を認めることが挙げられます。発症率は低用量であれば0.1~0.2%、癌治療等に用いられる高用量だと数%~33%と報告されており、発症するとQOLを著しく低下させる有害事象です。

「骨粗鬆症の薬を使用しているから抜歯できない」と考えられている方が多いですが、発症のリスク因子としては薬剤の累積投与量と持続する細菌感染源、全身因子として投与薬剤や感染に対する抵抗性の低下(糖尿病や自己免疫疾患、人工透析中の患者など)が関連しているため一概に抜歯ができないわけではありません。むしろ、細菌感染源を放置することによりMRONJを引き起こす可能性が一層高まるため適切な処置が必要となります。

薬剤投与前に感染源となりうる部位の処置を行う事が理想であるため今後は医歯薬連携が非常に重要となります。

<参考文献>

顎骨壊死検討委員会：岸本裕充,荻野浩,北川善政,野村武史,新井さやか,栗田浩,梅田正博,井上大輔,田口明,池田通,田口哲也,原田浩之.薬剤関連顎骨壊死の病態と管理：顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2023.



投薬前に
歯科受診
しましょう



顎骨が壊死した状態





★ 入院セットをご準備しています！



入院される時、必要なものが分からず困ったことや、荷物が多くて大変だったことはありませんか？
病院2階のコンビニエンスストア ポプラでは、入院に必須な日用品をセットにして販売しています。
セットは2種類（Aセット、Bセット）ありますので、ぜひご活用ください。

ポプラは毎日営業していますので、入院した日に購入してすぐに使用できます。ティッシュやマスクなど、無くなれば単品でも購入できます。何が必要か不明な際は、遠慮なく看護師までお声がけください。



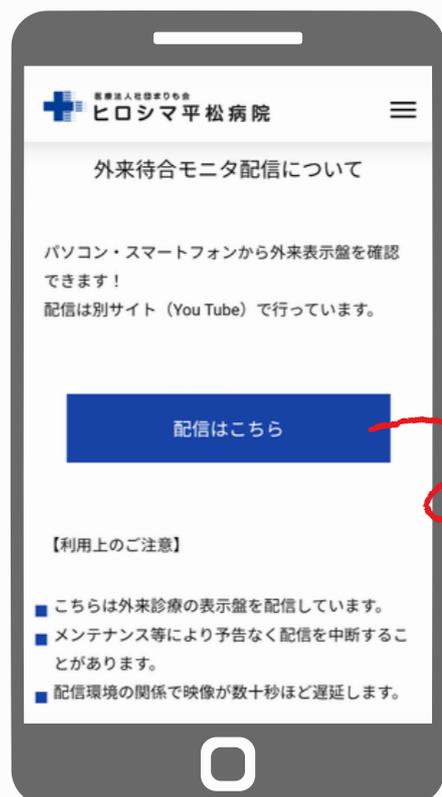
Aセット

箸、スプーン、コップ2つ、イヤホンマスク、歯ブラシセット、箱ティッシュ

Bセット

Aセット + シャンプー、ボディソープ、タオル3枚

★ 外来診察状況はYouTubeライブ配信でチェックしてスマートに診察室へ！



曜日や時間により、外来の待合が大変込み合うことがあります。
人が多い場所では、新型コロナウイルスやインフルエンザなど感染症も気になりますよね。

そこで、当院では外来の待合に表示している呼び出し掲示板をYouTubeでライブ配信し、いつでもどこでも待合の状況をご確認いただけるようにしました。当院ホームページの「外来のご案内」中ほどに「外来待合モニタ配信について」ご案内しています。

配信はこちら

からアクセスしてください。

整形外科・内科・形成外科

室名 医師名 診察室前でお待ち下さい

1 平松 恵一

2 高澤 篤之

3 室積 正人

51

4 寺岡 義布史

医師担当表 (2024年1月現在)



診療科目		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
整形外科	午前	亀井 豪器					
		平松 廣夫	真鍋 英喜	平松 恵一	平松 廣夫	高澤 篤之	兒玉 祥
		平松 恵一	柏木 健児	高澤 篤之	大饗 和憲		交代制
	午後	室積 正人	梶川 和徳	室積 正人		真鍋 英喜	
		中佐 智幸	平松 廣夫	梶川 和徳	高澤 篤之	平松 恵一	
		梶川 和徳	室積 正人	柏木 健児	室積 正人	柏木 健児	
	高澤 篤之			真鍋 英喜	青木 勇樹		
形成外科 (リンパ浮腫)	午前	青木 勇樹					目瀬 藤四郎 (第1,3) 光嶋 勲 (第2,4,5)
	午後			目瀬 藤四郎	永松 将吾		
リウマチ科	午前					吉田 雄介	
内科	午前	大石 秀夫	桑原 正雄	大石 秀夫		大石 秀夫	植田 裕介 (第1,3,5) 高張 康介 (第2,4)
	午後	北川 知郎	大石 秀夫	高畑 修治	桑原 正雄	板倉 希帆	
外科	午前	田崎 拓朗		田崎 拓朗		宮田 義浩	
	午後		田崎 拓朗	田崎 拓朗			
消化器外科	午前		寺岡 義布史		寺岡 義布史		寺岡 義布史
	午後	寺岡 義布史	寺岡 義布史		寺岡 義布史		
脳神経外科	午前						有田/広大(飯田)
	午後			香川 幸太 (第1,3,5)			
婦人科	午前					広大 (交代制)	
歯科口腔外科	午前	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正
		菅田 辰海	菅田 辰海	桐山 健	菅田 辰海	菅田 辰海	不定期
	午後	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正		
		菅田 辰海	菅田 辰海		菅田 辰海	菅田 辰海	
				桐山 健	桐山 健	桐山 健	



医療法人社団まりも会

ヒロシマ平松病院

<https://www.marimokai.or.jp/>

TEL .082-256-3650
FAX .082-256-3670

〒732-0816 広島市南区比治山本町11-27

平松病院

検索

